

kashiwa

8

柏市が皆さまにお伝えしたいこと

August 2025

暑さに負けず、出発進行

柏を支える鉄道のチカラ

KSW
2025

Kashiwa



【注目情報】

P10 6月補正予算の概要

家族まるごと！

かしわ でビュン！



親子みんなが笑顔になれる、
家族の“はじめて”デビューを
応援する情報を
毎月お届けします。



魅力ポイント！

手賀沼の
穏やかな水面を
ゆったり進む爽快な
アウトドア体験！

8人乗りの
メガ SUP は
初心者でも安心

水上から眺める
手賀沼の自然は
フォトジェニック

この夏、手賀沼で “水遊び”デビュー！

手賀沼の上をゆったり進む^{サップ}SUPは、夏ならではの思い出づくりにぴったりです。
柏の自然に触れながら、いつもと違う夏を過ごしてみませんか。

詳しくは市のホームページで

かしわでビュン！



CONTENTS～目次～

4 特集

柏を支える鉄道のチカラ

ピック アップ

10 Pick Up～市の新しい情報などをお知らせします～

6月補正予算の概要 (P10)

戸籍の振り仮名を通知 誤りがあったら届け出を (P10)

令和8年4月採用 市の職員を募集 (P11)

定額減税しきれなかったかたへ 給付金の不足額を支給 (P12)

こども誰でも通園制度の利用認定申請を開始 (P12)

ごみの収集と北部クリーンセンターへの持ち込みに注意 (P13) ほか

インフォメーション

15 Information～情報コーナー～

【連載】

27 かしわレシピ♪

30 潜入!! 工事現場 途chuアフター

31 Kashiwa Photo Diary ～まちの出来事を写真とともに～

32 かしわ愛を込めて ふるさと産品お届け便

市長の
スマイル通信

vol.43

アフタースクール事業をスタート
新しい放課後の居場所づくり

子どもたちの放課後の過ごし方が変わってきています。昔は、友だちの家に集まって一緒に過ごすこともありましたが、近年は共働きの家庭が増え、それが難しくなっています。

市では、学校から帰宅しても、保護者が仕事などの理由で家にいない小学生をお預かりする学童保育を「こどもルーム」と呼んでいます。その利用者は、この10年でおよそ2倍に増えました。

こうした中、市では受け入れを拡充し対応してきましたが、施設の数や広さには限りがあり、希望しても利用することができない小学4年生以上の待機児童が増えています。一方で、放課後に学校の空き教室を使って、学習会や体験講座を行う「放課後子ども教室」も一部の学校で行っていますが、人手不足などの課題を抱えています。

そこで市では、保護者の就労状況を問わず、希望する全ての児童が安心して過ごせる放課後の居場所を提供するため、こどもルームと放課後子ども教室を一つにした新たな「アフタースクール事業」を来年度から行うこととしました。まずは市内42校のうち20校でスタートし、その後全ての小学校に展開してまいります。友達と遊んだり、静かに読書や学習をしたり、さまざまな体験プログラムのなかから好きなものを選んで参加したりするなど、それぞれの興味や関心に応じて、子どもたちが放課後の時間を自分らしく過ごせる居場所づくりに努めてまいりたいと思います。

柏市長

太田 和美



※本誌10ページの補正予算の記事もご覧ください

はがき・ファクスなどの記入内容

①希望する講座・催し名 ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号※電話が困難な場合はファクス番号⑥(往復はがきの場合) 返信面の宛先

掲載情報の 見方

時=とき 所=場所 対=対象 定=定員 内=内容 講=講師 費=費用 持=持ち物 申=申し込み 交=交通 他=その他
問=問い合わせ ●費用で特に記載のないものは無料 ●対象や定員に制限のないものは、どなたでも参加可

本誌掲載の二次元コードについて、アクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集しているため個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで収集を拒否することができます。



1平成8(1996)年 JR柏駅の柏レイソルの試合結果案内板 2令和6(2024)年11月市制施行70周年を記念して、東武柏駅を発着したスペースX 3昭和38(1963)年からおよそ45年走り続けた東武鉄道8000系の8111編成。東武博物館での動態保存を経て、令和5(2023)年から製造当時のレトロなカラーで復刻し運行中



4昭和52(1977)年 乗客で混み合う国鉄(現JR)柏駅のプラットフォーム 5つくばエクスプレス線開業20周年記念トレイン(第1弾) 6平成22(2010)年 柏の葉エリアの航空写真。平成17(2005)年のつくばエクスプレス線の開業以降、今でも発展し続けている 7大好きなつくばエクスプレスに乗車し大喜び 8昭和47(1972)年 国鉄(現JR)柏駅に快速電車が停車し、お祝いムードに 9指差しで安全確認をするJR柏駅長 10昭和48(1973)年 多くの買い物客や通勤・通学する人が行き交う柏駅 11昭和38(1963)年 東武野田線のホームに立つ子ども

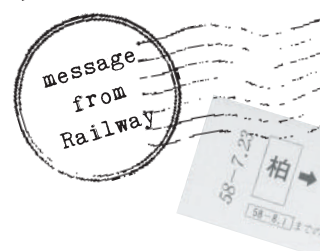


柏を支える鉄道のチカラ

私たちの生活を、便利で豊かなものにして给我们いる鉄道。

今号では、鉄道とまちの歩みを振り返りながら、駅を守り続けているかたの日常とそこに込められた思いを紹介します。

岡 広報広聴課 ☎ 7167-1175 ・ FAX 7166-8289



12昭和46(1971)年 国鉄(現JR) 柏駅改築時の仮設の柏駅入り口前 13柏の葉アクアテラスから見る柏の葉キャンパス駅周辺の夜景 14JR 常磐線を走るE657 系特急型車両。令和9(2027)年春に、この列車を全席個室タイプに改造した車両が夜行特急列車として首都圏と東北を運行予定 15平成9(1997)年 JR 柏駅構内でひととき目立つ大きな七夕飾り 16国鉄(現JR)が発行していた柏まつり記念乗車券



17高柳でんしゃ公園で、大好きな電車がすぐ横を通り、思わず見とれる親子 18JR 柏駅が毎年参加するD51(デゴイチ)ふれあいまつりで電車と触れ合う親子 19昭和54(1979)年 改築中の東武野田線増尾駅 20東日本大震災の影響で、一部不通となっていた常磐線的全線開通5周年を記念した、近隣大学と駅員による演奏会



鉄道と共に刻まれる 柏の歩み

柏市が誕生する以前から、まちを走り続けてきた鉄道。柏の発展と、私たちの暮らしは、市内を走る3つの鉄道網に支えられてきました。

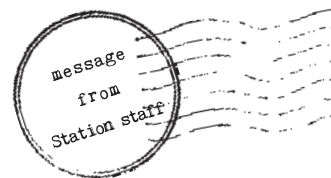
明治時代、現在の柏市にあたる地域に、常磐線と野田線が開通したことで、都心に近い農村として東京の発展を支える重要拠点になりました。

昭和40年代後半、常磐線の快速電車開通時には、柏駅東口駅前の大規模開発が進み、にぎわいのある商業都市としての姿が形作られました。さらに、平成17年に市北部につくばエクスプレスが開業すると、空き地が広がっていた柏の葉キャンパス駅前にマンションやビルが立ち並ぶようになり、今でも目覚ましい発展を続けています。

鉄道は、柏の歩みを語る上で欠かせない存在です。そして、そこには列車を走らせるために駅を守り続けてきた人たちがいます。人を乗せ、物を運び、まちをつなぐ鉄道は、今日も走り続けています。

日々を支える 駅の仕事

安全で快適に、日々電車を利用できるのは、駅で働く人たちのおかげです。
いつもは見えないけれど、知ればきっと見方が変わる、
そんな駅の仕事をのぞいてみました。



私たちが
紹介します！



東日本旅客鉄道
営業副長
渡部孝さん



首都圏新都市鉄道
駅務係
関口桜希さん



東武鉄道
駅務係
中屋優輝さん



お客さまのそばで安全・安心をサポート



@東武柏駅



先回りして、安全をサポート

車いすをご利用のかたが電車を利用する時は、乗車駅からバリアフリー連絡アプリを使い連絡を受けます。降車駅では、スロープを準備して対応します。その他にも、目の不自由なかたや高齢のかたなど、困っているかたへの声掛けや見守りをしています。



@東武柏駅

小さな落とし物も 全力で搜索



@TX 柏の葉キャンパス駅

目で見て、しっかり安全確認

ホームや列車の安全を確認できたら、車掌に見えるように旗で合図をします。機械ではなく目で見て確認することが、安全に発車するためにもとても重要です。

線路内の落とし物は、マジックハンドを使用します。イヤホンなどの小物は先端にテープを貼って取ることも



@TX 柏の葉キャンパス駅

緊急時は情報をいち早く放送

お客さまの安全を守るための呼び掛けや必要な情報を駅構内に放送します。特に電車の遅れなどの緊急時には、多くのかたに届けるため繰り返しお伝えします。

振り替え輸送を 分かりやすく案内

電車が止まって振り替え輸送を行う時は、他の鉄道・バス会社と連携し、お客さまが無事に目的地までたどり着けるように正確な路線の情報を分かりやすくご案内します。



@TX 柏の葉キャンパス駅



@東武柏駅

緊張感を高め、お金を管理



毎日、券売機の売上金を回収し計算します。電子化が進む中でも、特急券の購入や交通系ICカードのチャージなど、現金を使用することも多く、誤りがないように気を引き締めて作業に取りかかります。



@JR 柏駅

最終電車を見送った後にもこんな仕事！

深夜の大規模清掃



普段は駅員も入ることができない場所も、終電後、ごみ拾いや除草作業などを定期的に行い、きれいにします。



@JR 柏駅

心強い！駅の味方たち

ロボットもフロア掃除をお手伝い

広い場所はロボットが、細かい場所は人が掃除するなど、協力して駅をきれいにしています。



@JR 柏駅

「AIさくらさん」が質問に答えます

東武柏駅の南口改札内外に1台ずつ設置されているご案内サービス「AIさくらさん」。質問すると乗り換えや周辺施設の情報を教えてくれます。



@東武柏駅

こんな仕事もしています

イベントや勉強会を企画



駅を安全で楽しい場所にするために、表からは見えないデスクワークも欠かせません



@JR 柏駅

時間になると膨らみ、強制的に起こしてくれる自動起床装置



@JR 柏駅

決まった時間に確実に起きる



早朝から深夜まで列車が運行するためのシフト勤務では、起床することも重要な仕事です。毎日始発を見送り、必ず時間通りに列車を走らせることができる、駅の秘密はここにあります。

非常用ボタンを押す訓練



いざという時にためられないよう、駅員だけではなく、駅構内の店舗スタッフも一緒に訓練しています。

危険ないと感じたら、皆さんも押してください



@JR 柏駅

3社集結!

柏の駅を動かすリーダー

市内を走る3つの路線。多くのかたの大切な日常を守るという
使命を胸に鉄道を走らせる、駅長・所長の思いを聞きました。



列車運行で、日常的な通勤・通学を支えるだけでなく、足を運ぶと何か楽しいことをやっている、そんな駅を目指して、イベントの企画などにも力を入れていきます。昨年は、大学生と一緒に駅構内でミニコンサートを行いました。震災により被害を受けた常磐線が、全線開通するまでの歩みを演奏と共に聞き、涙するのを見た時、地域とのつながりを強く感じました。そういった地域の皆さんの思いに触れた時に、やりがいを感じます。

地域活性化への貢献が一番のやりがい



毎日10万人以上のかたを安全・安心に送り届けることに、責任と使命を持ち、業務に臨んでいます。日々の安全・安心を守り続けることは簡単ではないですが、それが当たり前になることを目指しています。そんな中、自然災害などによる輸送障害への対応が求められる場面もあります。そういった予測不能な事態に陥った際に、慌てず、正確に判断し動けるように、緊急時のフローチャートを全駅員に意識付けしてい

安全・安心を守り続けることが使命



おかげさまで、8月24日に、つくばエクスプレスは開業20周年を迎えます。これから先も多くのお客さまに安心してご利用いただくためには、駅員に業務への対応力が身に付いていることが重要だと考えています。緊急時や災害時など、駅でのトラブルがあった時に、安全を保ちながら通常の運行に戻せるように、業務中のコミュニケーションで自然に連携できる体制作りや、定期的な研修・実践的な訓練を通し

業務への対応力を基盤に今年が開業20周年



駅から広がる、まちのカタチ

柏市は駅と共に歩んできました。
その今とこれからを少しだけご紹介します。



北柏駅周辺

北柏駅北口駅前広場周辺に、スーパーマーケットや飲食店、保育園などが並ぶ複合施設の建設が進んでいます。中でも「まちライブラリー」は、利用者が持ち寄った本を通じて人とのつながりが生まれる私設図書館です。地域と連携したイベントも開催する予定です。



高柳駅

平成30(2018)年に、東武アーバンパークライン高柳駅の東西自由通路と橋上駅舎の利用が開始され、東口と西口をスムーズに移動できるようになりました。さらに、令和2(2020)年からは急行列車も停車するようになり、高柳駅の利便性が大きく向上しました。



柏の葉キャンパス駅周辺

柏の葉エリアでは、住む人や働く人が連携し、まちづくりを行っています。駅周辺で、学術研究機関や先端企業の立地が進むことで、駅の利用者やまちに訪れる人の増加も見込まれ、まちのさらなる発展が期待されます。



駅が地域と積極的に交流を持つことで、まちの雰囲気も明るくなると思っています。柏駅の社員全員がそのことに誇りを持ち、駅一体で地域を盛り上げていきます。

訓練は体に動作が染み込むまで

駅を守る上で大切なのは、予測しない事態が起きた時に落ち着いて動けるようになることです。そのために、日々の勉強だけでなく、訓練を実践形式で行い、体で覚えるようにしています。

私たち駅スタッフの仕事は、お客さまを安全に目的地に送り届けることが最優先だと考えています。そして、1人でも多くのかたに、柏に住んで良かった、駅に行って楽しかったと思ってもらえたらうれしいです。

ます。そして、自社訓練だけでなく、自治体や他の鉄道会社等と連携した研修などにより、あらゆる事態に柔軟に対応できるよう備えています。

特別なイベントや企画で喜びを

昨年、普段は浅草駅に発着しているスーパーシアXを、柏駅発で特別運行した際に、普段見られない光景を見たお客さまの笑顔が印象的でした。他にも、駅発案の新しい企画で、駅員と一緒に缶バッジの図柄を考え、カプセルトイを作りました。手に取ったかたが、駅や電車に少しでも興味を持っていていたらうれしいです。駅が人を送り届けるだけでなく、特別なイベントや企画によって喜びも届けられる場所でありたいと思います。

て、日頃から対応力を磨いています。これによって、さらなる「安全・安心・安定輸送」を届けたいと考えています。

お客さまの笑顔が励みに

駅でお客さまの笑顔を目にすると、快適に利用してもらえたのかなとホッと、励みにもなります。また、小学生のまち探検や中学生の職場体験などのイベントで、「つくばエクスプレスが好き、働いてみたい」と夢を描く言葉を耳にすると大変うれしくなります。その子どもたちが鉄道係員になってくれたらいいなと思います。

11月には「TX沿線トリップウォーク」を開催する予定です。柏の葉キャンパス駅付近の見どころをお楽しみください。